

1 組織名 藤沢自治会

2 地区の概要

○面積 1.370 k m² ○世帯数 547世帯 ○人口 1,366人

(1) おいたち

藤沢の歴史は古く、奈良時代に一つの氏族の住んでいた集落であり、有力な酉長の指導の下に平和に暮らしており、高い生活文化を持っていた。明治32年頃里人によって発掘された狛森古墳がある。稲荷神社は、安倍貞任一族の滅ぼされた霊を鎮めるために熊野12社を東奥の鎮座として勧請したもので、南北朝時代京の七代目遊行上人が布教に当たられ「藤沢」の地名をもらい受けた南部藩政の天和3年には、見前通り藤沢村は696石の村であった。享保年間には、戸数38戸と記されている。明治21年、町村制施行により徳田村と合併し、昭和30年矢巾村大字藤沢となる。

(2) 特徴、特色

国道4号線を挟んで住居密集地帯の中で、狛森古墳（県指定）高田藤沢稲荷神社があり、西側には県立消防学校、矢巾町立矢巾東小学校があり、古くから住んでいる住民と新たに新居を構える新住民との混在化地域である。特にここ数十年の経過により新旧の協調が図られ、新たな地域形成が創られている。

また、今後も岩手医科大学の進出により、それに伴う人口増が予想され、更なる変遷期を迎えようとしている。

3 コミュニティ計画

(1) コミュニティ活動方針

①キャッチフレーズ

新旧住民の親睦を密にして、調和の取れた地域づくり

②活動目標

住民総参加を基本とした地域行事の参画と、世代間の交流、親睦輪を広げ、将来に向けて住民が気軽に参画できる体制づくりを推進していく。

(2) 組織体制及び活動の内容

区 分	活 動 の 内 容
事 務 局	自治会活動全体の調整に関する事 予算、決算及び財源の確保に関する事
行 政 部	町からの行政連絡に関する事 会員に対する周知に関する事 各班の事業に関する事
総 務 部	庶務に関する事 公民館の維持管理に関する事 その他、他の部会に属さない事項に関する事
環 境 部	環境整備に関する事 河川、道路整備に関する事 その他環境衛生関係に関する事

区 分	活 動 の 内 容
福祉教養部	会員の健康増進に関すること 青少年の健全育成及び弱者の援助に関すること 教育、啓発、文化活動に関すること その他福祉教養関係に関すること
体 育 部	対外的スポーツ活動の推進に関すること 会員の親睦を図るためのスポーツ交流に関すること その他体育関係に関すること

(3) 主な事業、年間行事等

主な事業、年間行事名	担 当
町民大運動会、藤沢大運動会、各事業への取り組み	行 政 部
道路・河川愛護、雑物除去、町をきれいにする運動、ごみ集積所の巡回指導	環 境 部
文化祭、各種講演会企画運営、文化活動への支援等	福祉教養部
町民運動会、町民スポーツ大会への参加、自治会運動会、スポーツ交流会等の企画運営	体 育 部

(4) コミュニティ施設等の整備計画

(単位:千円)

実施年度	事 業 区 分	事業費	内 容 説 明
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			

4 資金計画

(1) 収入計画

(単位:千円)

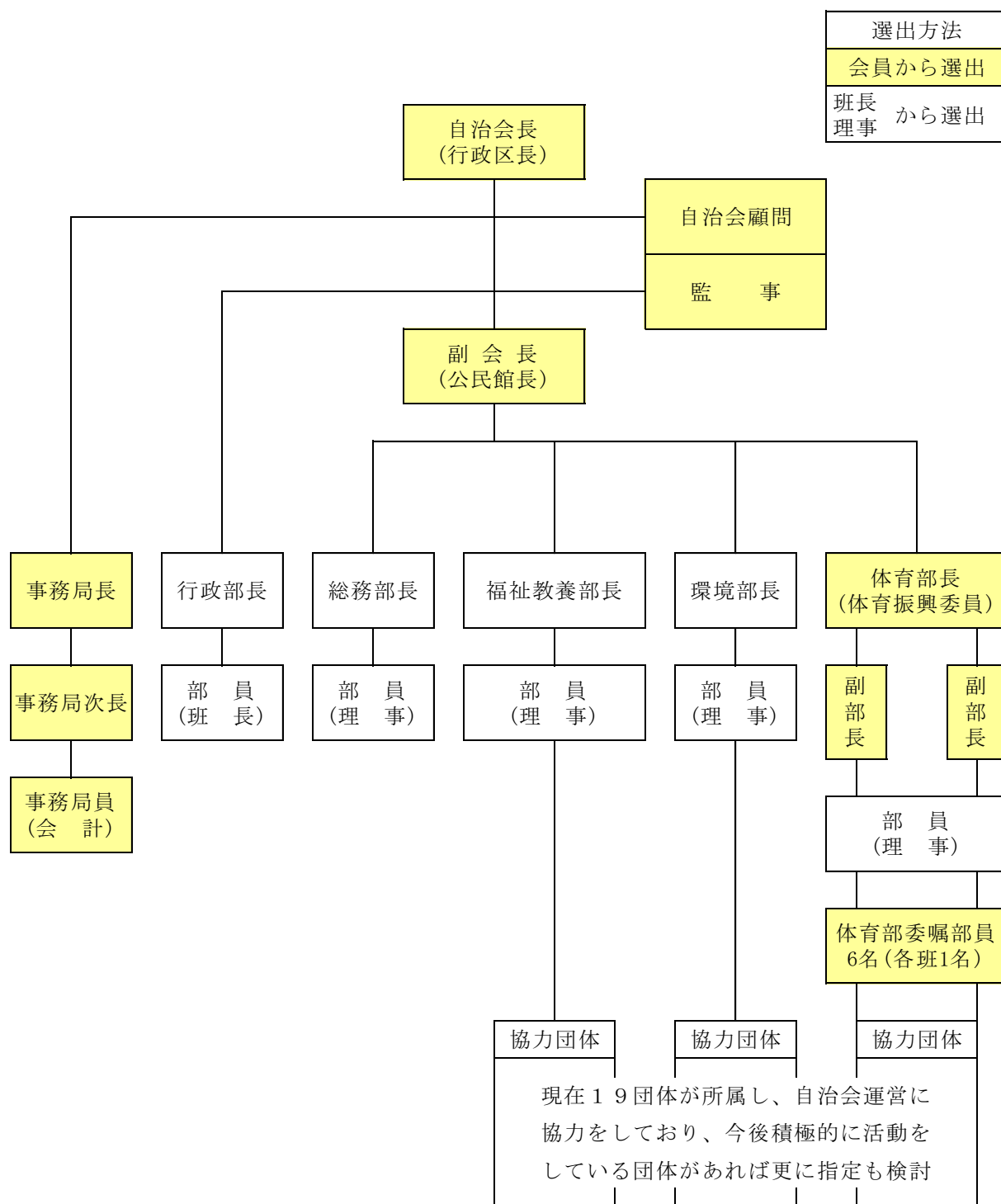
科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
自治会費	5,000円×世帯数					
協力金	地区内事業所					
補助金	道路・河川愛護費					
	防犯灯電気料補助					
	防犯灯設置補助					
	ごみ集積所整備補助					
	グラウンド整備補助					
その他	雑収入					
合計						

(2) 支出計画

(単位:千円)

科目	説明	金額				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
会議費	総会、役員会等					
事業費	広報発行費					
	親睦会費					
	各種スポーツ大会費					
	公民館運営費					
	各班へ活動補助					
	子供会育成会費					
維持管理費	防犯灯電気料					
	防犯灯設置費					
	公園、ごみ集積所					
	管理費					
生活福祉費	健康づくり活動費					
役員手当						
予備費						
合計						

組織図



※ 体育部長と体育振興委員は兼務できる。
 体育副部長は2名制とし、1名は自治会内
 事業担当、1名は町・地区対抗事業担当。